

AD-8116

コンパクト・プリンタ

imno-8116-016-j-V.2

取扱説明書



AND 株式会社 **イー・アンド・デイ**

目 次

第 1 章 規 格	1～2
1-1 概 要	1
1-2 仕 様	1～2
第 2 章 取 扱 方 法	3～8
2-1 各部の名称・機能	3～5
2-2 操作方法	6
2-3 統計演算機能の使い方	6
2-4 使用方法	6～7
2-5 印 字 例	8
第 3 章 保 守	9
3-1 使用上の注意	9
3-2 保守・修理	9
3-3 手入れ方法	9

第 1 章 規 格

1-1 概 要

AD-8116 は、重量インジケータ、AD-4316、AD-4321、電子天びん FX、FY、EK、EW、ET シリーズ等と組合せ、専用のデータ処理装置としてご使用いただけるプリンタです。

(1) 特 徴

- 非常に小型で、手軽に持ち運べ、場所を取りません。
- 単に、印字するだけでなく、統計演算機能により、合計、最大、最小、平均、標準偏差等の印字が可能です。
- 内蔵型 RS-232C インターフェイスを持つ、すべての重量計と天びんに、共通に接続できます。

1-2 仕 様

(1) 構 成

	数量
1. コンパクト・プリンタ本体	1
2. ACアダプタ	1
3. 専用接続ケーブル (KO:256)	1
4. 記録紙 (PP:121)	2
5. プラ グ	1
6. 取扱説明書	1

第2章 取扱方法

(2) 一般仕様

型式名称	AD-8116
印字方式	サーマル方式
文字仕様	5×7ドット 文字高2mm 16桁/行
印字速度	約1行/秒
紙送り速度	約1行/秒
印字ヘッド耐久性	50万行
記録紙	感熱ロール紙TP50KS-4AX(十条製紙)又は相当品 (PP:121) 紙厚65 μ m 紙巾38mm 最大巻径 ϕ 28mm
使用温度	0~40 $^{\circ}$ C
保存温度	-10~60 $^{\circ}$ C
電源	ACアダプタにより, 9V, 800mAを給電
ACアダプタ	AC100V $\begin{matrix} +10\% \\ -15\% \end{matrix}$, 50/60Hz, 15VA
外形寸法	94(W)×160(D)×34(H)mm
重量	約250g

2-1 各部の名称・機能

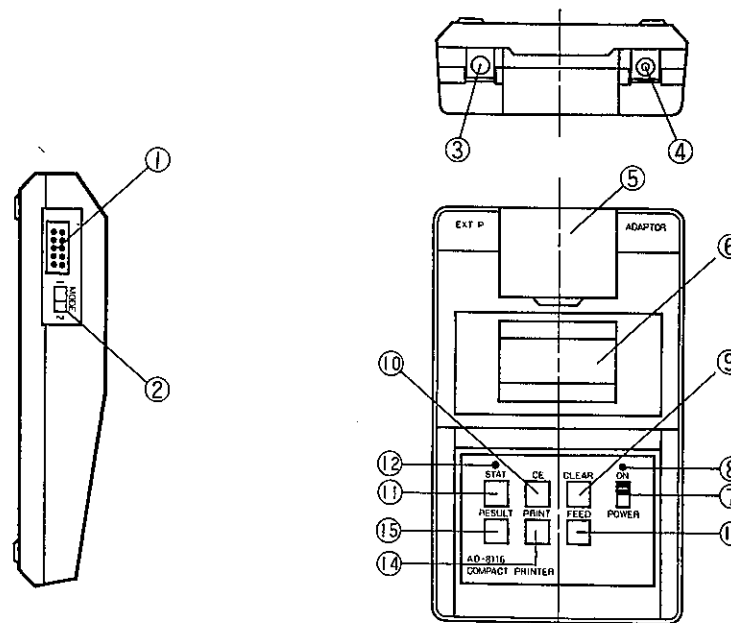


図 1

図 2

- ① データコネクタ
- ② MODEモード切換スイッチ
- ③ EXT.P外部スイッチジャック
付属のプラグを使用して, 手元スイッチ, フットスイッチ等をここに接続してください。
- ④ ADAPTORACアダプタ接続ジャック
- ⑤ 紙ケースふた
- ⑥ 紙切り
- ⑦ POWER電源スイッチ
- ⑧ 電源パイロットランプ
- ⑨ CLEARクリアスイッチ
メモリーされている統計演算データを, すべてクリアします。

- ⑩ CE クリアエンタースイッチ
誤って入力した統計演算データの、取消しを行ないます。
- ⑪ STAT 統計演算切換スイッチ。このスイッチを押すことにより、統計演算の対象を切換えます。
- ⑫ 統計演算モードランプ このランプの色で、統計演算の対象となるデータを示します。消灯時(演算なし)“緑”(重量値)“赤”(計数値)
- ⑬ FEED 紙送りスイッチ
- ⑭ PRINT モード2での測定値の印字、及び統計演算データの入力を行ないます。モード1では無効です。
- ⑮ RESULT 統計演算結果印字スイッチ。測定後、このスイッチを押すことにより、N,TOTALを印字します。さらにもう一度押すことにより、MAX,MIN, \bar{x} , σ ,Rを印字します。

次の手順により、付属のACアダプタを接続してください。

- ① AD-8116の電源スイッチをOFFにする。
- ② ACアダプタをAC電源に接続してください。
- ③ ACアダプタの出力プラグをAD-8116のADAPTOR と書かれたジャックに差し込んでください。
- ④ AD-8116の電源スイッチをONにしますと、電源パイロットランプが点灯して、使用できる状態になります。

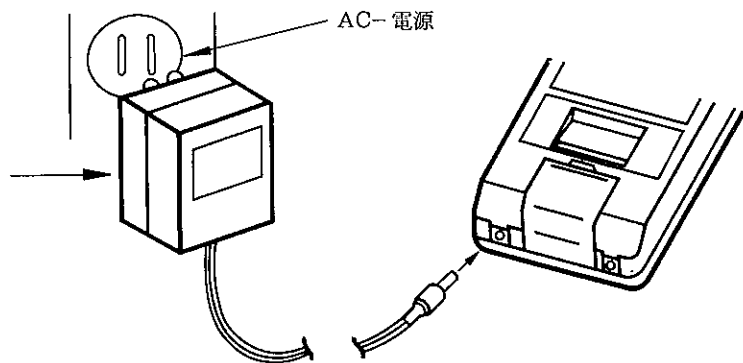


図 3

図 4

次に記録紙をセットします。

- ⑤ 記録紙の前端を垂直に切り揃えてください。
- ⑥ 紙ケースを開き 図5 のように奥のすき間の金属板の上側にそって、紙がつき当るまで平行に差込んでください。
- ⑦ 紙を軽く押し込むように力を加えながら、“FEED”スイッチを押し続けると、紙が自動的に巻き込まれていきます。紙の先端が紙切りの外に少し出てきましたら、FEEDスイッチを離してください。

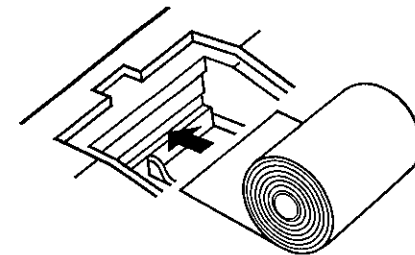


図 5

測定器との接続

- ① AD-8116及び測定器の電源スイッチをOFFにします。
- ② 測定器の内蔵RS-232Cインターフェイスの設定を、ボーレートを2400ボーに、モードをストリームモード又は非同期モードにします。
- ③ 付属の専用ケーブルでAD-8116と測定器を接続します。

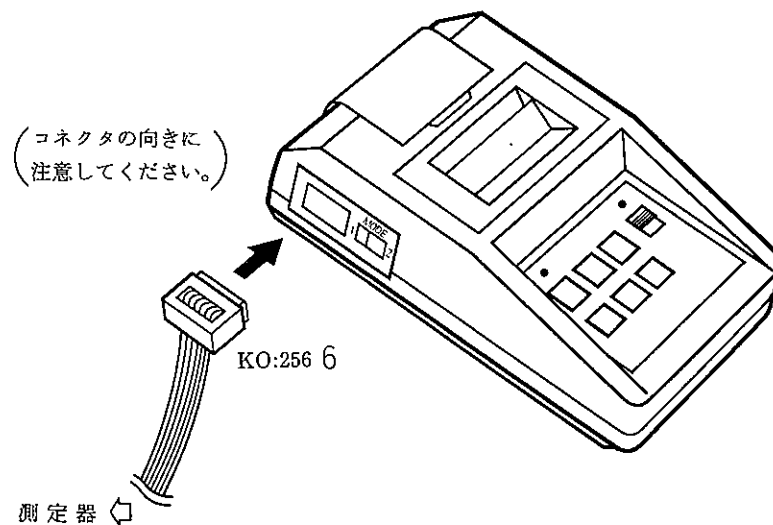


図 6

2-2 操作方法

左側面にある、モード切換スイッチを、接続機種によって、切換えてください。

モード1: 測定器より送られて来るデータを、すべて印字します。※注)1.

対象機種 EX/Y-Nシリーズ, FX/FYシリーズ(PRINTキイ使用)
ET-300A, EY-300A/3000A及びEX-A, EY-A, ER-A各
シリーズをオートプリントで使用する場合。

モード2: AD-8116の“PRINT”スイッチを押された直後のデータを印字します。※注)1.

対象機種 EW-A, EV-A, EZ-A, EX-A, EY-A, ER-A, EZ-N
FX/FY, EK, FV各シリーズ, ET-120A, 及びAD-4316,
AD-4321を通常使用される場合。

※注)1. 正しく数値として印字されるのは、測定値が安定している時のデータだけです。それ以外の不安定時あるいはオーバ時のデータは“*”が印字されます。

2-3 統計演算機能の使い方

AD-8116は統計演算として、次の各値を印字することができます。

N: 測定回数 (Max 999)

TOTAL: 総合計

MAX: 測定値の最大

MIN: 測定値の最小

\bar{x} : 平均値

σ : 標準偏差

R: 測定値の範囲

2-4. 使用方法

(1) “CLEAR”スイッチを押し、メモリをクリアします。メモリ内に前回測定結果が残っている場合だけ、“*CLEAR”と印字されます。

(2) “STAT.”スイッチで、演算の対象を選択します。

LED消灯時は、演算は行ないません。

緑点灯時は重量値(WT.GS.NT等)のデータに対して演算を行ないます。

赤点灯時には、計数値(QT)のデータに対して演算を行ないます。

(3) データを入力していきます。演算に用いたデータには、サンプルナンバーが自動的に付けられます。

誤ってデータを入力した場合は“CE”スイッチを押してください。“*CANCEL”と印字され、直前のデータが消去されます。

(4) 演算結果が必要な場合は、“RESULT”スイッチを押してください。NおよびTOTALが印字されます。

(5) もう一度“RESULT”キイを押すと、MAX, MIN, \bar{x} , σ , R等を印字します。

(6) 継続して演算を行なう場合は、そのままデータを入力してください。

※注)1 小数点位置や単位が、最初に入力されたデータと異なる場合は、そのデータは、演算から除外されます。(印字はされません。)

また、EX/EY-Nシリーズの、単重や累計も除外されます。

※注)2 データ数は、最大999個。1000個目のデータが入力されると、それまでの演算結果を印字し、メモリをクリアします。1000個目のデータは、1個目のデータとして、新しく入力されたこととなります。

No.995	
WT +1600.170	9
No.996	
WT +1599.760	9
No.997	
WT +1600.490	9
No.998	
WT +1600.050	9
No.999	
WT +1599.720	9
N	999
TOTAL	
1598414.380	9
MAX 1600.500	9
MIN 1599.500	9
\bar{x} 1600.014	9
σ 0.2840	9
R 1.000	9
No.001	
WT +1600.000	9

印字データは種類を示すために必ずアルファベット2つと数値と単位で行なわれます。

種類

WT.....重量を示します。

NT.....NET重量を示します。

GS.....GROSS重量を示します。

TR.....TARE重量を示します。

QT.....個数を示します。

UW.....単位重量を示します。

AQ.....総個数を示します。

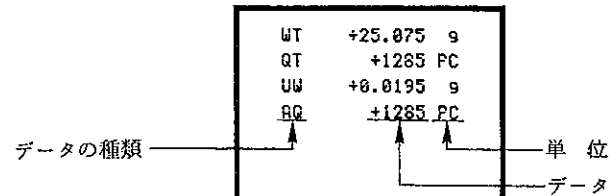
*.....計量が安定していない時、

プリント・ボタンを押すと

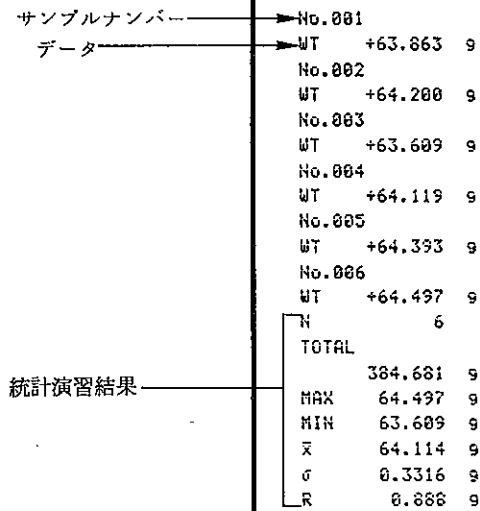
このマークが印字されます。

2-5 印字例

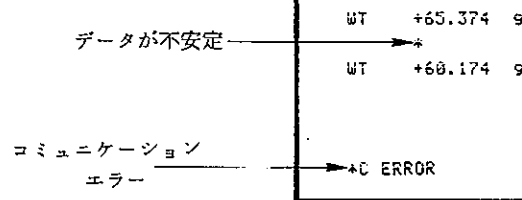
(1) 通常の印字



(2) 統計演算印字



(3) その他の印字



*C ERRORは、ボーレートの設定の誤り、ケーブル接続の誤り等で印字されます。

3-1 使用上の注意

- (1) 記録紙をセットしないで空のまま印字しないでください。
- (2) 記録紙は、指定の用紙 (PP:121) を御使用ください。
- (3) ACアダプタは、必ず付属のものを御使用ください。
- (4) ACアダプタは、ノイズを発生しやすい機器とは、別系統の電源に接続してください。
- (5) 接続ケーブルやACアダプタの着脱のときは、必ず電源スイッチを切ってください。
- (6) 塵埃の多い場所、高温多湿の場所、水や油のかかる場所、直射日光の当たる場所での御使用は避けてください。
- (7) 記録紙は、熱、湿気、光、汗や油、薬品、化学糊、粘着テープ、塩ビフィルム、ジアゾコピー等により、変質することがありますので、取扱いはご注意ください。

3-2 保守・修理

- (1) ご使用後は、電源スイッチを切り、ACアダプタはコンセントから抜くようにしてください。
- (2) 本機に不具合が生じた時は、もう一度この説明書及び測定器の説明書をお読みになった上で、スイッチの操作、電源の状態、ケーブルの接続を確かめてください。

3-3 手入れ方法

汚れは、中性洗剤等で軽く拭き取り、有機溶剤などは使用しないでください。